

2022年2月28日

ヘルスケア事業領域の拡大に向けた資本業務提携スタート ～心疾患の早期発見を目標に『超聴診器』を開発する AMI 株式会社と 遠隔医療の実現に向けて～

日清紡グループでは、企業理念に「挑戦と変革。地球と人びとの未来を創る。」を掲げ、「ライフ&ヘルスケア」を戦略的事業領域のひとつに定めています。昨今、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、さまざまな領域で「リモート」「非接触」であることのニーズが高まる中、日清紡グループでは強みである無線通信技術を使った医療機器や介護の領域での製品開発を通じて、人々の日々の暮らしに貢献しています。この事業領域をさらに拡大するため、本日2月28日より「急激な医療革新の実現」をミッションに、心疾患診断アシスト機能付遠隔医療対応聴診器（超聴診器）の開発や遠隔医療サービスの社会実装を目指す AMI 株式会社と共同開発を目的とした資本業務提携を開始することになりましたのでお知らせいたします。



開発中の AMI 社製「超聴診器」（未承認医療機器）

聴診器は誰もが知っている医療機器の1つですが、200年以上大きな技術革新もなく医療従事者の経験と聴覚に頼らざるを得ないことが課題でした。AMI 社は、超聴診器に AI を用いた心疾患の診断をアシストする機能や心音を解析するソフトウェアを開発・実装し、全国の医療機関での多施設臨床研究を実施しています。また、遠隔聴診対応ビデオチャットシステムと組み合わせることで、遠隔医療領域における社会実装への取り組みも進めています。

日清紡グループの日清紡マイクロデバイスと上田日本無線は既に超聴診器の開発に参画しており、日清紡グループとして引き続き医療機器としての上市に向けて支援していきます。今後は無線・通信事業、マイクロデバイス事業の培ってきた優れた情報通信技術、センシング技術、エレクトロニクス技術、医療機器製造のノウハウの提供を通じて、質の高い遠隔医療の実現に貢献するため、AMI 株式会社との協力体制を強化してまいります。

以上

■AMI 株式会社概要

AMI 社は、”急激な医療革新の実現 “をミッションに掲げ、『超聴診器（心疾患診断アシスト機能付遠隔医療対応聴診器）』や、遠隔医療サービスの社会実装を目指す研究開発型スタートアップ企業

商号： AMI 株式会社
設立： 2015 年 11 月
累計資金調達額： 5.9 億円
代表者： 小川晋平
URL： <https://ami.inc/>
本社所在地： 鹿児島県鹿児島市東千石町 2-13 302 号
事業内容： 医療機器の開発・遠隔医療サービスの提供

■遠隔聴診対応ビデオチャットシステム（実証事業例）

遠隔聴診対応ビデオチャットシステム
～ 質の高い遠隔医療の提供 ～

生体音・酸素飽和度・脈拍 etc

2020 年度に熊本県水俣市で実施された委託事業「遠隔システムを活用した予備健診実施実証事業～クラウド健進®～」での様子（AMI 社資料作成）

可視化した生体音を伝送することにより遠隔聴診を実現しています。パルスオキシメーターと連携することにより、脈拍数、経皮的動脈血酸素飽和度をリアルタイムで共有可能です。